

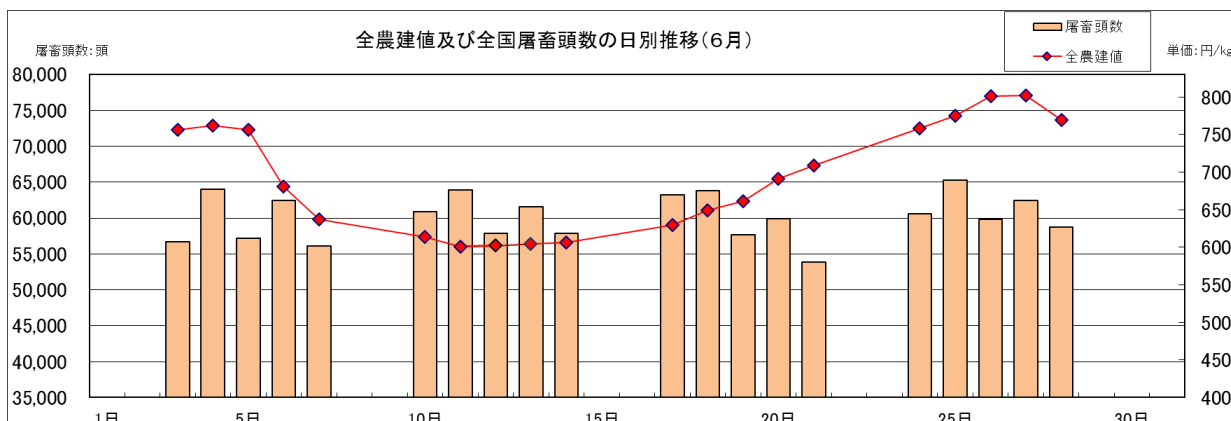
肉豚インフォメーション (6 月)

●6 月の動向

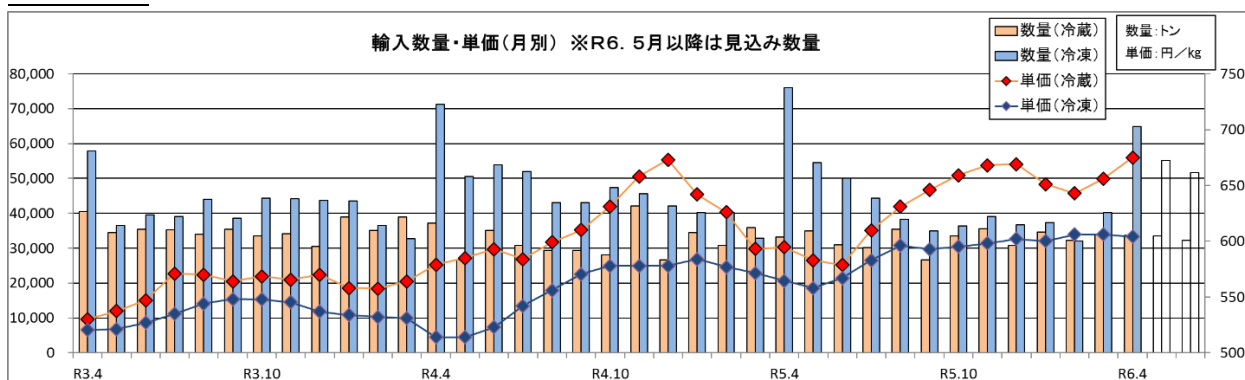
2024 年 6 月 (税抜)	2023 年 6 月 (税抜)
693 円/kg (43 円高)	650 円/kg

※全農建値

6 月は、岩手・栃木・佐賀で発生した豚熱の影響もあり、需給バランスが崩れ相場を押し上げた。最高 802 円 (税抜) まで上がり、近年例を見ない相場展開となった。

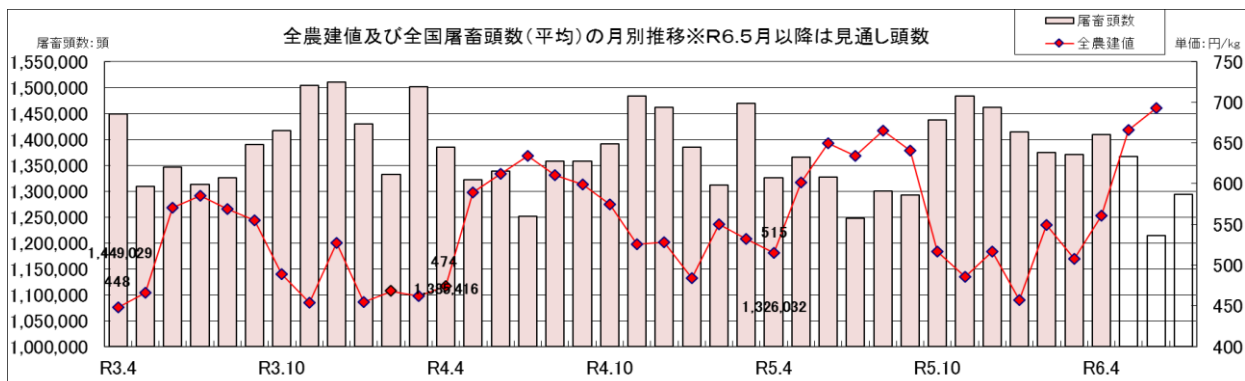


●輸入動向



●7 月の動向

7 月の出荷頭数については、前年同月をやや上回ると予測。



7 月の相場については、例年よりやや高値で推移すると予想される。

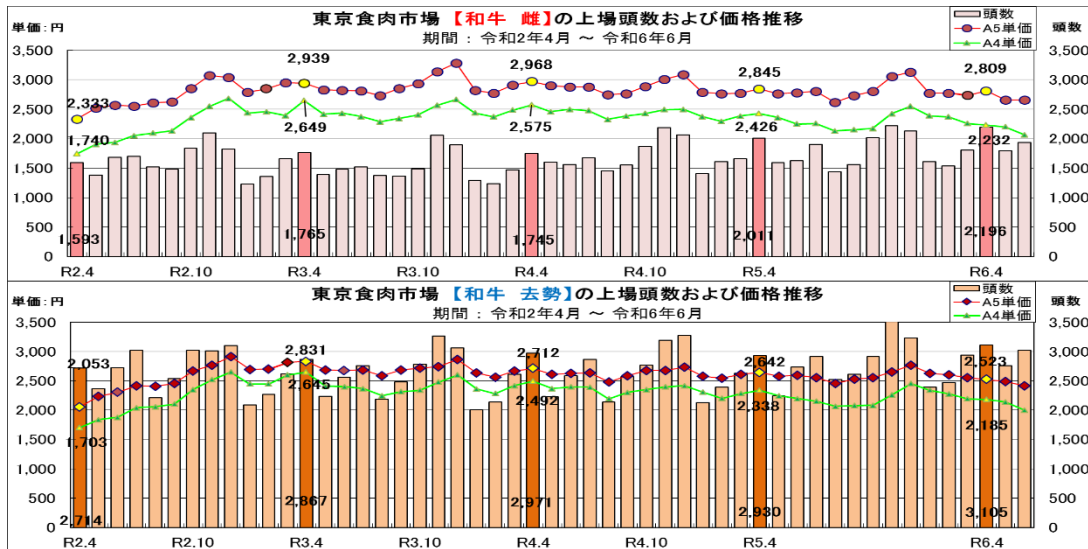
全農建値 (税抜) 予測レンジは 600 円～650 円とする。

肉牛インフォメーション（6月）

●6月の動向

6月は例年以上に動きが悪く、月初からジリ安で推移していった。5等級内でも雌の上物などは相場を維持していたが、4等級は2,000円/kgを切るモノも散見された。

一方、交雑牛は後半になるにつれて落ち着いてきたが、量販店等での和牛からのシフトも続いており、継続して堅調な相場観であった。



●7月の動向予測

7月は梅雨明けまでは末端消費の回復は見込めず、和牛相場は6月の弱もちあいが続くと予測する。後半には旧盆商戦向けの手当ても始まるため、上物を中心に引き合いが戻ってくるか。交雑牛および乳牛は代替え需要の継続により、引き続き堅調な相場観が予測される。

7月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

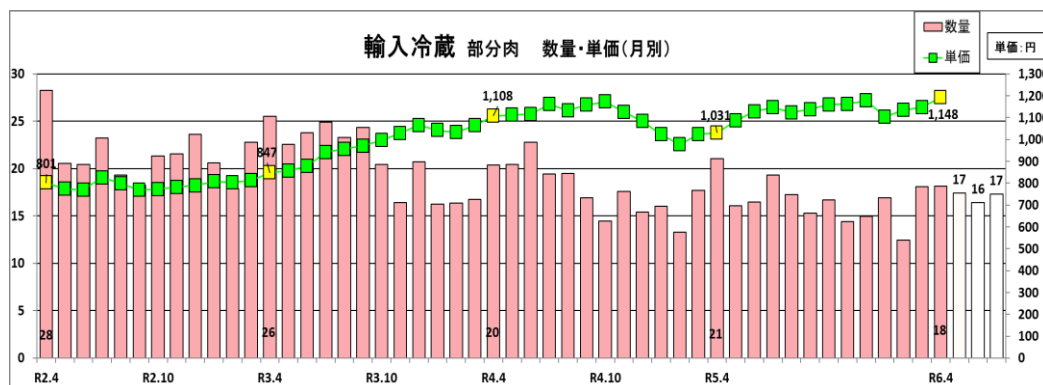
和牛去勢 A5等級 2,400円（税込み） A4等級 2,200円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,650円（税込み） B3等級 1,500円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国産需要が低迷する中、現地相場の高騰等による米国産輸入量の減少が見込まれること等から、6月はわずかに、7月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。

（ALIC牛肉の需要予測について 6月26日）



食肉インフォメーション（6月）

●6月の動向

○牛肉

消費者の節約志向は強く、財布の紐は硬い。和牛はロインなどの高単価部位の荷動きが悪い状態が続いている。一方で交雑牛や乳用牛は和牛からのシフトが進み比較的好調な荷動きであった。仲卸での原料流通も同じように推移しており、卸売各社とも和牛の過剰在庫となった。

○豚肉

6月上旬に下げた豚枝肉相場だが、輸入豚肉の入荷減・暑さ・疾病の影響により中旬以降は再び上昇した。末端消費は相変わらず安価な切り落としに引き合いが集中しており、仲卸・小売店ではロースを中心とした中部位の在庫消化に苦戦している状況である。

●7月の動向

○牛肉

7月はギフト需要が有るものの、末端消費の動向は梅雨が明けるまで活発な動きは見込めない。量販店では交雑や乳用牛の販促を組む店舗が多く、和牛についてはモモ・バラ・カタの切り落とし材中心の販売になる。仲卸では和牛の過剰在庫となっており、ロイン系は在庫消化の為価格をさげての販売も考えられる。

○豚肉

7月は梅雨が明けないと末端消費も戻らない。昨年からの物価上昇により消費者の節約志向は根強く、ロース・バラなど中部位の荷動きは弱く、低価格帯の切り落としなど安価な部位に集中する流れは変わらない。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年5月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度5月	25,705	8,764	25,745	18,689	10,206	5,786	94,895
令和5年度5月	24,859	8,644	32,334	19,547	8,273	5,738	99,395
令和6年度5月	24,506	7,048	28,573	21,604	9,978	5,708	97,417
増減（R5-R6）	-353	-1,596	- 3,761	2,057	1,705	-30	-1,978
対比（R4/R6）	95%	80%	111%	116%	98%	99%	103%
対比（R5/R6）	99%	82%	88%	111%	121%	99%	98%